

あいさつ

第3次厚真町総合計画の 実現、推進を目指して

厚真町長
藤原正幸

町民の皆さま、あけましておめでとう
ございます。
平成19年の輝かしい新春をご健勝で迎
えられたことを、心からお慶び申し上げ
ます。

平成18年を顧みますと、いじめが原因
と思われる児童生徒の自殺、幼児への虐
待と暗いニュースに明け暮れたなか、皇
室におかれましては41年ぶりの男子、秋
篠宮悠仁親王がお生まれになったこと
に、あらためてお慶びを申し上げます。

経済の面では法人税の増収など、いざ
なぎ景気を上回る好景気と報道されてお
りますが、北海道経済は完全な回復基調
にはなく未だ負の時代を脱しきれていな
いものと感じております。

しかし、スポーツの分野においては、
甲子園3連覇を目指した苫小牧駒澤高校
が決勝戦再試合のすえの準優勝、また北
海道に移転して3年目の日本ハム球団が
日本一になったことは、地元に関連企業
が立地する本町も含め全道民がその優勝
に歓喜したところであります。基幹産業
の農業は、8月の好天により春の遅れも
取り戻し、昨年にはきつづき豊稔の秋を
迎えられることに、心からお慶び申し上
げます。

町域では国・道の大規模事業である勇払
東部地区国営農業用水再編対策事業・厚
幌ダム建設・厚真川河川改修・道営農場
整備などが順調に進められております。

平成17年度までの10年間をスパンとし
た「交流をさそう、緑とゆとりにあふれ
た大いなる田園の町」をメインテーマと
した「厚真町新総合計画」も終了し、住
環境の整備、福祉関係の整備、市街地の
再開発、下水道の供用開始、道路の整備
などの目標が達成されたものと確信して
おります。

いま地方自治体をとりまく経済情勢、
社会情勢は高度情報化、高度技術革新、
グローバル化の進展など時々刻々変化し
ております。その趨勢を的確に捉え、地
方自治を推進すべく、平成18年度からの
10年を期間とする「いのち満ちる 農（み
のり）の里あつま 大いなる田園の町」
をテーマとした第3次厚真町総合計画を
スタートさせたところであります。

自立を宣言した本町の前途は、社会、
経済情勢が激しく変化している昨今を考
えますと、多難な行財政運営を強いられ
るものと思われまます。しかし町民各位の
協力による協働のまちづくり、つまり行
政と住民が一体となり計画の実現、推進
に全力で邁進してまいりたいと考えてお
ります。

結びになりますが、本年も町民各位の
ご協力とご支援を賜りますようお願い申
し上げますとともに、町民皆さまのご健
勝とご多幸をお祈り申し上げ、平成19年
の年頭にあたってのごあいさつといたし
ます。

年頭のご

生きる力に満ちあふれた 「ふるさとあつま」の創造を目指し

厚真町議会議長

河村 忠 治

町民の皆さま、明けましておめでとう
ございます。

希望に満ちた輝かしい新春を、健やか
にお迎えのことと心からお慶び申し上
げ、あわせて日ごろからの議会に対する
温かいご支援とご協力に對しまして、深
く感謝を申し上げます。

さて昨年を顧みますと、一年の世相を
象徴する「今年の漢字」に「命」が選ば
れましたが、秋篠宮家の長男悠仁さまの
誕生という一方で、いじめ自殺や虐待、
飲酒運転事故、竜巻災害など痛ましい事
故が相次ぎ、一つしかない命の重み、大
切さを痛感した一年であったように思っ
ます。

本町におきましては、基幹産業の農業
に明るい話題が二つありました。一つは
3年連続の豊作であります。春先には、
低温と日照不足による生育の遅れが心配
されましたが、その後6月下旬からの好
天と生産者の栽培努力によって、農作物
全般にわたって豊穰の秋を迎えることが
できました。もう一つは畜産業の快挙で
あります。9月に行われました北海道総
合家畜共進会において、本町の肉用牛が
クラス部門で1等になり、さらに総合で
最高位に輝いたのであります。これらは、
それぞれの農家の皆さまをはじめ、それ
を支える方々の努力のたまものであり、

関係者のご尽力に對しまして、心より感
謝を申し上げます。

国内経済を見ますと、全般的には景気
拡大が続いており戦後最長に達したとい
われておりますが、残念ながら北海道内
ではまだまだその実感がないのは事実で
あります。このような中、昨年の北海道
日本ハムフアイターズの活躍は、道民に
生きる力と希望を与えてくれたばかりで
はなく、北海道経済の活性化にも大きな
波及効果がありました。また、暮れには、
かつて不評だった道産米が、食味と品質
の良さで人気急上昇しているという大
変うれしいニュースも届くなど、明るい
兆しが見え始めた一年でもありました。

本町は、昨年「いのち満ちる 農（み
のり）の里あつま 大いなる田園の町」
をメインテーマとした新しいまちづくり
計画をスタートさせました。

議会といたしましても、「農」を生かし
た協働のまちづくりをとおして、命を敬
い、尊重しあうことに心して、小さくと
も生きる力に満ちあふれた「ふるさとあ
つま」の創造を目指し、町民の皆さまの
意思を町政に反映させ、議会活動に積極
的に取り組んでまいる所存であります。
どうか本年も相変わらぬご支援とご協力
をたまわりますようお願い申し上げます。